

(2) 三重県男女共同参画審議会による評価

進捗に関する評価

女性の登用については進展がみられ、一定評価できる。

- ・ 審議会等委員への女性の登用については、平成14年度調査では県・市町村ともに拡大している。
- ・ 農業委員については、多くの市町村で改選をとらえ、理解を求める取組を進めたことにより、34名から69名に倍増した。

取組の結果生じた課題

- a 審議会等委員への登用率の今後の伸びは、あまり期待できない。
- b 充て職が、審議会等委員への女性の登用拡大を妨げる要因となっている。
- c 審議会等委員に関しては、男女共同参画を学習する機会が少ない。
- d 農業委員等の女性の委員は増加しているが、積極的に発言するためには複数就任が望ましい。
- e 県における女性職員の管理職への登用については、登用人数以上に対象者の退職があり、伸び悩んでいる。

・ マネージャー以上の女性職員	H14.4.1	36人、5.3%
・ "	H15.4.1	33人、4.9%
・ "	目標値 H17.4.1	50人(目標値は人数のみ)

時代変化を受けての新たな課題

該当なし

今後の施策についての提言

- a・d 個々の審議会等の登用状況についての評価、停滞原因の解明などを行い、それぞれに対策を立てる。特に、女性委員が参画していない審議会等にあっては戦略的に関わる。
- b 充て職については基準見直しを行うとともに、国等の基準については改善に向けた働きかけを行う。トップが常に男性である団体等に対しては、団体自体の意識を変えていく働きかけをする。
- c 審議会等委員に男女共同参画について理解を深めていただく機会を提供していく。
- e 県における女性職員の管理職への登用に向け、登用年齢に至るまでの段階でさまざまな職務を経験させるなどの能力開発を行い、人材育成に努める。